

長崎の現状を「白書」に

「長崎県には課題がたくさんある。人口減少、新幹線などの高速交通の在り方、

県立大学の挑戦

「新任教員」紹介①①

PR

農林水産業の産業化…。長崎で解決ができれば、日本の課題も解決できる」

地域創造学部 実践経済学科



【プロフィール】

九州大経済学部卒。九州経済調査協会情報研究部長などを歴任。シンクタンクのバードウイング（九州経済社会研究所）代表。担当科目は「長崎白書実践演習」。鹿児島市出身

とりまる 鳥丸 さとし 聡 教授 (56)

鹿児島島の地方銀行に10年、シンクタンクに10年、中小企業向け経営コンサル業務に10年関わり、地域課題の解決策や成長の処方箋を探る日々を送った。特に、シンクタンク時代は九州の産業構造や企業動向を分析する「九州経済白書」を取りまとめてきた。

授業でもその手法を生かし、本県の現状や課題を突く「白書」づくりを行う。「自力で道を切り開いていける人材」を自身の教育目標に掲げ、学生には発想の

転換を求める。教科書を1ページ目から学ぶスタイルではなく、「突き当たった課題を調べ、自らの引き出しを奥深く、大きくしていく。社会に出て、物事に挑戦できる素地づくりを支援したい」と語る。

福岡の民放ラジオ局で、九州に関する経済ニュース番組を持って15年目。鋭く、そして平易な解説で、地域を身近に引き寄せるプロでもある。

【随時掲載】

AO入試出願期間
9月8日(木)～16日(金)

0956
(47)
5856